

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	震災アーカイブを活用した自立的な学びと語り継ぎの仕組みづくり事業
事業主体 (連絡先)	白馬村(教育委員会事務局生涯学習スポーツ課) 0261-85-0726
事業区分	(4)安全・安心な地域づくり、(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,204,600円(うち支援金:1,007,000円)

事業内容

2014年に発生した神城断層地震で、地域に多くの被害が生じたものの、住民の助け合い・支え合いにより死者を出さず災害を乗り越えることができた。

いつ発生するかわからない次なる災害に備えるためにも、被災当時から復興に至る様子をデジタルアーカイブとして保存・公開し、学校教育や社会教育で活用することで、地域住民の防災意識の高揚を図るとともに、語り継いでいく仕組みを構築する。

- ・小中学校における震災アーカイブを活用したフィールドワーク
- ・公民館講座と連動したガイド養成・勉強会
- ・民間事業者との連携による防災減災セミナー
- ・QRコード付アーカイブ看板の設置等

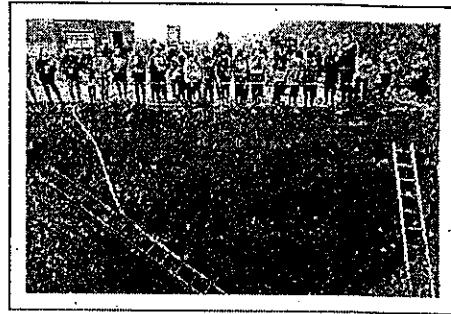
事業効果

- ①小学校での座学・フィールドワークや公民館講座「白馬山麓めぐり」において地域の環境条件(断層等)や震災当時の様子を知ること、子どもから大人まで幅広い世代の防災意識を高めることができた。
- ②毎月の自主的な勉強会や視察研修で訪れた他地域の防災関係者との意見交換等により、ガイド(アーカイブサポーターズ)の知識と経験を高め、自立的な組織化に向けて前進することができた。
- ③新たにアーカイブ看板を設置することで、フィールドワークの学びを深めるだけでなく、他の目的で設置場所を訪れたり通ったりする人の目に止まり、震災について知ってもらう機会を増やすことができた。

今後の取り組み

ガイド(アーカイブサポーターズ)の自立的な学びや地域における活動を継続的に支援し、学校教育や公民館講座、視察対応だけでなく、行政の防災担当部署や各地区の区長や自主防災組織等とも連携を図りながら、地域の防災意識の向上に貢献していきたい。

他地域の同様の取り組み(災害アーカイブの活用や語り部の育成等)も参考にしながら、新たなガイド人材の掘り起こしや被災地域との連携、広報紙やケーブルテレビ等を活用した情報発信等についても取り組みたい。



白馬南小学校フィールドワーク
トレンチ調査の見学

【目標・ねらい】

- ①多世代の防災減災意識の高揚
- ②震災を語り継ぐガイド養成
- ③アーカイブ看板の設置と活用

※自己評価【B】

【理由】

・ほぼ予定どおりに事業を実施し、学校教育や公民館講座、セミナー等を通じて、震災アーカイブの存在やガイドの活躍を地域内外の方々に知っていただくことができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある